

【はじめに】

期待と興奮を胸に、目一杯のワクワクを詰めた二つのキャリーケースを抱え、初めて踏み入れたヨーロッパという新しい土地。そこは新しい出会い、驚き、学びが一生分詰まっているような素敵な



な場所でした。楽しいことばかりでなく時にはハプニングもつきものですが、これぞ異国の地、これぞ留学と思いながら笑って何食わぬ顔して乗り越えていきました。まだ学校は本格的には始まっていないのですが、ヨーロッパに来てから約三週間。その間に私が実際に経験して感じたこと、学んだことをこの報告書を読んで下さっているみなさんにお伝えしていきたいと思います。

【契約について】

日本からフランスへワルシャワを経由しトランジットを含め約28時間の移動。遠い国から遙々やって来た留学生達にまず立ちはだかる壁は、様々な契約や手続きです。空港から家までの移動は幸いにも優しい大家さんが迎えに来てくださりそこは特に苦労することはありませんでした。家に着くなりすぐに契約書にサイン。大家さんは英語が得意ではなく、空港から家までの移動は翻訳機を使いながらフランス語と英語で会話をしました。もちろん契約書にサインをする際にもフランス語の契約書を見せられました。しかし、何を書いてあるか全く分からなかったので半ば読むことを諦め、サインをして、軽く家の説明を受けて、無事何事もなく家に住むことが許可されました。

次にやらなければいけないことはスマホのキャリア契約と銀行開設です。

スマホのキャリアに関してはフランスに住んでいる同じ学生のサポーターのサポートを受けてすんなりと開設。銀行口座の開設もサポーターにサポートしてもらい、スムーズに開設出来るはずだったのですが、一週間後に銀行から衝撃的な一通のメールが届きました。あなたの口座は開設できません、口座開設のためには出生証明書を提出してくださいとのことでした。ここからが地獄の始まりでした、、、。まず、口座が開設できなかった理由として、身分証明書として使用したパスポートに書いてある出生地が有効ではないと言われたのです。そんなはずは無いのですが、銀行側は有効でないの一点張り。考えられる原因は私の出身地は静岡県浜松市、パスポートにはPlace of BirthがSHIZUOKAと記載されており、銀行員の方が出生地の市の名前の欄に

SHIZUOKAと記載したため浜松市という名前と静岡市という名前が一致せず出生地に齟齬が生まれたのでは無いかと考えています。

私の銀行開設はこの出生地不一致問題によりストップしてしまいました。こうなると、出生証明書を発行してもらうには在マルセイユ日本国総領事館に発行を依頼する必要があります。私は、フランス語または英語の出生証明書は必要ないだろうと思い、日本語のものしか発行してこなかったのですが、手続きで問題があった時に何かと必要になる可能性があるので、これから留学を考えているみなさんには無いよりはあったほうがマシだという精神で日本で発行してくることを強くお勧めします。フランスで発行する場合は在マルセイユ日本国総領事館まで往復8時間かけて受け取りに行く事になってしまいます。

多くの方が経験するこの壁は人によってはとても簡単に乗り越えられるものかもしれません。私はこればかりは運だと思っています。というのも同じような条件で銀行を開設した私の友人は二週間ほどで口座が開設できていましたし、他の諸々の手続きをほとんど躓く事なく終えていました。今回の私はとことん運が悪く、銀行のキャリア契約以外の契約（電車の定期券発行、銀行口座開設など）は今のところ問題ばかりです。一度手続きに躓くと、色々なところに問い合わせをして一つ一つ虱潰しに解決していくしかないので、ストレス続きの日々でした。しかし、このハプニングがあったからこそ学んだこともたくさんありました。

【生活について】

様々な手続きに苦労しながらも合間の息抜きに30分ほど電車やバスで足を運べばBiot, Antibes, Niceといった素敵な旧市街地を楽しむことができます。さらに、私の住む家からは徒歩5分で素敵なビーチに行くことも出来ます。たった2〜30分移動するだけで素敵なヨーロッパの街並みを楽しむことができるのはNiceやAntibesに住んでいる人達の特権だと思います。さらに、バスで3時間ほどで隣国イタリアのジェノバにも行くことが出来ます。私は、学校が始まるまで少し時間があつたため、イタリアのサマースクールに参加していた友人に会うという目的も兼ね、フランスに来てすぐにイタリアに小旅行に行きました。陸続きですぐに国を超えて移動ができるというのもヨーロッパの良いところだと思います。

お金、支払いに関してはクレジットカードデビットカードさえ持っておけば何も心配することはありません。私は支払いは基本クレジットカードで済ませています。キャッシュレス決済が普及しているため旅行先の小さな屋台やスーパーレストランなどありとあらゆる場所がクレジットカードに対応しています。



【終わりに】

次回は食べ物のことや授業のこと、学校のことなどについて書こうと思います。次回の報告書も楽しみにしてください。